

第6回議事（概要版）

平成23年3月2日 18:00～20:00
町田市役所第1会議室

配布資料

資料1 検討結果報告書（案）

1 前回議事内容の確認

前回の内容の確認。配布された議事録について修正事項がある場合は3月9日までに事務局まで連絡。

2 議事

鈴木良明委員長： 第6回の検討委員会、今日が最終回です。事前に先生方のお手元に前回までの議論を反映している報告書（案）が配布されているかと思えます。今日は最終回ということでございますけれども、先生方、何かご意見、ご感想があれば、述べていただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。

事務局(奥山)： 報告書の仮タイトルが「文化芸術都市町田をめざして」というのが付いていますが、これにつきまして前島委員から、2つ案をいただいております。

「文化芸術都市で魅力ある都市、町田のために」

「文化芸術をはぐくむ都市、町田のために」

鈴木良明委員長： 今日の議論を踏まえて、最後に決めたいと思います。

事務局(奥山)： 「はじめに」の文章ですが、文責につきまして委員会一同とするのか、それとも鈴木委員長のお名前とするのか、ご検討願います。

前島正光委員： 私は委員長名がいいと思いますが。委員会というよりも、個人、委員長さんのメッセージの方が受け取る側は良さそうに思うのですが、いかがでしょう。

山口有次委員： 一般的には委員長ですね。

鈴木良明委員長： では文責が私ということになれば、原案を元に私なりのリライトをさせていただきます。

前島正光委員： 目次の一番上の項目ですが「検討委員会への付託事項」などの表現が相応しいのではないかと。

同様に、以下

(1) 委員会発足経緯と依頼事項

(2) 委員会検討資料

など簡潔な表現が報告書として望ましい。

本検討委員会からの報告の項目について

本検討委員会での検討結果（要約）のに1から4までありますが、これらを一まとめにした表現が必要ではないか。「要約」に対して「詳細」あるいは「各論」など。

濱田隆委員： その要約のところが「総論」というふうな意味になるんですね。

渡辺一雄委員： あるいは「要旨」でもいいですね。市民がそれを見た時に、この項目で全体像が分かる。

山口有次委員： 簡潔に要旨と各論が区分できるようにすればいいのでは。

前島正光委員： 4ページの右下の図、経営会議の下に委員会名がありますよね。一番下だけ委員会名がないので記載した方がよい。

小瀬康行委員： 4ページの右下の図、既に終わった作業もこの中にあるので、その時期も記載しておいた方がいいのではないかと。

濱田隆委員： 出来れば、展示面積と収蔵面積も入れてもらったらいいということを行いました、それは資料編で結構です。

前島正光委員： 7ページCのところについて、博物館施設が保有する主な資料というタイトルになっていますが、中身を見ますと、資料だけではなくて、成り立ち等も入っているんですね。この内容とタイトルはちょっと違和感があるのですが、これでよろしいのでしょうか。

濱田隆委員： 内容について、市立博物館の成り立ちがあまり説明されていないですね。郷土資料館として発足した経緯から、市内の埋蔵文化財や、民俗資料の収集を心がけ、そして、やがて、博物館と改名してガラス器などへと展開したためにいろいろな問題点を抱えたという要因となりますので、説明が必要です。

順番について、(a)と(b)は入れ替えた方が分かりやすい。アンケートが先にあり、施設が次にくるように。

前の5ページの概要のところに関連する情報が書いてあります。5ページの表と、それから7ページの現有資料と、これを一表で整理できないかと。

- 小瀬康行委員： 検討したのがやはり9カ所ですから、平等に書くことがなくても、なければならないということを明示した方がいい。
- 山口有次委員： 7ページの記載内容について、「非常に貴重」「情報の宝庫」などは本編の方で評価している内容なので、前の方で記載する必要はない。5-7ページではもっとシンプルに、こういう施設があるよという概要が書かれていればいい。
- 前島正光委員： やはり5-7ページはまとめた方が分かりやすいと思います。
- 渡辺一雄委員： 3ページの用語について、文化資源との関係で博物館施設というのは、4館に限定する必要はない。検討会としては9つの施設をまんべんなく検討した。「豊かな文化資源」には自然系も含まれるべきです。対象を絞り込むのは、本編の議論の流れで表現すべき。
- 山口有次委員： そういう意味ではこの定義の博物館施設という定義を取ってしまうのがいいとおもいます。
- 渡辺一雄委員： 何かすごく箱モノ臭くなっている。
- 山口有次委員： 箱モノばかり意識しているわけではないわけなので、博物館等で統一するのがいいと思います。
- 渡辺一雄委員： 最終的にこのまま実施計画が作られていくんでしょうけど、まだその次元に達していないと考える方が、今後議論の余地を残しているのではないのでしょうか。
- 濱田隆委員： 8ページの自然系の「未整備」はちょっと気になります。例えば、検討課題とかもうちょっと整理した方がいいと思います。
- 濱田隆委員： 9ページですが、国際版画美術館の版画コレクションは「世界有数」というのはちょっと言い過ぎだと思います。
- 前島正光委員： それから、(1)の「町田市の博物館や施設は」という文章の塊がありますよね。本当にこういうふう言い切って大丈夫でしょうか。例えば3行目の「随一の規模を誇る」とか、少し慎重に表現した方がいいのではないかなと思います。
- 前島正光委員： 10ページですが、「現在の博物館等における資料の整理・保存の状態」「現在の博物館における展示・活用のための施設状況」のところに「結論」という項目がありますが、2と3にあって、1のところがないのは不自然ではないか。

渡辺一雄委員： 8ページに要旨があるのでそこにまとめて入れておいた方が、市民が見た時に分かり易い。

小瀬康行委員： 11ページについて、3つの分野に施設群を整理しましたが、なぜこういう3つになったのかという議論の経緯をもう少し詳しくした方がいい。

鈴木良明委員長： 「大別できます」ではなくて、なぜ3つなのかということですね。

濱田隆委員： 12ページの図について、ない方が僕はいいかなと思うのですが。

鈴木良明委員長： この図で言いたいことは、該当部分について現状は取組みが弱いという指摘を整理したということですね。それを言いたいということになれば、矢印や○△などの記号を省略して簡潔な表現して下さい。

小瀬康行委員： 市民ボランティアについてなんですけれども。「生涯学習への貢献」「市民協働の場の提供」のどちらに含めるべきか。「市民協働の場の提供」に入れるという考え方もある。

前島正光委員： これは両方に述べたらいかがでしょう。「育成する」という側面と「活用する」という側面で区別して扱うといい。

渡辺一雄委員： 本日は最終の委員会ということなのですが、文化振興課で進めている文化芸術振興の基本方針の検討との整合性は、どうやって調整しますか。

事務局(奥山)： 基本方針として確定したものがあればご紹介したのですが、同時進行の形になってしまいました。成果品として完成次第お送りします。

渡辺一雄委員： 委員会が以後開催されない場合、最後は委員長一任でよいか、委員間での合意を形成した方がいいと思います。その後は事務局で最終案を取りまとめて、委員長の了承を得て頂く。

前島正光委員： 個別に気が付いたことをまた改めて事務局でいただいて、それを委員長に一任して整理していただき、最終的に決めていただく様にしたらいかがでしょう。

鈴木良明委員長： 委員の皆様いかがでしょうか？

一同： 了承

鈴木良明委員長： では、気になる表現等ございましたら、ぜひご一報いただければと思います。

では、最後にタイトルどうしましょう。

「文化芸術都市で魅力ある都市、町田のために」

「文化芸術をはぐくむ都市、町田のために」

渡辺一雄委員： 折衷案で、ちょっと長いですけど双方のいい点を合わせて「魅力ある文化芸術を育む」などの表現はいかがでしょう。

山口有次委員： 「魅力ある文化芸術を育む都市」

一同： 了承

事務局(奥山)： 今日は長い間ありがとうございました。先にもお伝えしましたように、3月の25日に市長に報告の日程を組みましたので、また改めてご連絡させていただきます。よろしくお願ひ致します。

鈴木良明委員長： 長時間に渡りまして、ありがとうございました。
つたない委員長でございましてたけれども、どうもありがとうございました。